Century Corporation User's Manual

裸族のお立ち台DJ クローンプラス USB3.0 & eSATA



【はじめに】

このたびはCROS2EU3CPをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 ご使用の前に本説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

・ご使用の前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に 防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または ∕≜警告 重傷を自う可能性を想定した内容を示します。 この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし ∕∖注意 物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

■煙が出る、異臭がする、異音がでる

煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店 へ修理を依頼されるか、弊社サポートヤンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。 点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げ の販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。 そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因 になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでくだ さい。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

∕∖注意

■設置場所に関しての注意事項

- 以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
- ・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 ・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- ・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
 ・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- ・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- ・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- ・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- ・直射日光のあたるところ
- ■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

	はじめに	i
	安全上のご注意	i
	制限事項	1
	ご使用の前に	1
	製品仕様	2
	製品内容	2
	各部の名称	З
	対応HDD/SSD ······	5
	対応機種	5
	対応OS······	6
	HDD/SSDの取り付け方法	7
	HDD/SSDの取り外し方法	9
	PCとの接続方法	11
	電源の投入方法	12
	領域の確保とフォーマット	13
	・Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合	13
_	·Windows XPの場合	19
	ハートウェアの取り外しについて	24
		25
		27
	ティスクコピーモード時のトラフルシューティング	31
	トフフルシューティンク	33
	FAQ	36
	コピーモード時のFAQ	37
	サボートのご案内	39

【制限事項】

- ・本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失等については、弊社では 一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度 な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での 使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用 ください。
- ・本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された 場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は2.5/3.5インチシリアルATA HDD/SSD専用です。パラレルATA (IDE) は使用で きません。

【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど お気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願い します。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社 では一切その責を負いません。
- ・Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- ・記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- ・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。 本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることになります ので、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。 また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気 防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

番:CBOS2FU3CP 型 ■商 名:裸族のお立ち台DJクローンプラス USB3.0 & eSATA 品 ■インターフェイス ・デバイス側:SATA I/I/1.5Gbps/3.0Gbps ・ホスト側:【USB】USB 3.0【eSATA】SATA II 3.0Gbps ■USBコネクタ形状:Standard Bタイプ 量 : 約 544g(ドライブ含まず) ■重 **■**寸 法:幅143mm×高さ70mm×奥行き132mm(突起部含まず) ■温 度 ・ 湿 度:温度5~35℃・湿度20~80% (結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること) ■ACアダプター仕様: [AC入力] 100V~240V [DC出力] 12V 4A ※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。



□CROS2EU3CP 本体 □専用eSATAケーブル × 1 □専用USB3.0ケーブル × 1 □専用ACアダプター×1
 □専用ACケーブル×1
 □取扱説明書/保証書(本書)



CROS2EU3CP 本体



専用ACアダプター





専用USB3.0ケーブル

専用eSATAケーブル



専用ACケーブル



取扱説明書/保証書

【各部の名称】 〈前面〉



- HDD/SSD差し込み口
- ② HDD/SSD取り出し補助ボタン
- ③ 操作パネル

→P.4 操作パネル詳細

〈背面〉



- ① eSATAコネクタ
- ② USB3.0コネクタ
- ③ 電源コネクタ

〈操作パネル詳細〉



①電源ボタン:本製品の電源をON/OFFするためのボタンです。 電源ON時、ボタンが青色に点灯します。

②PCモード/コピーモード切り替えボタン: PCモードとコピーモードを切り替える時に使用します。
・PCモード(青色点灯時):本製品をPCと接続して使用する際のモードです。

電源ON時は必ずPCモードになります。 →P.11【PCとの接続方法】

 ・コピーモード(赤色点灯時):本製品のディスクコピー機能を使用する際のモードです。
 電源をONにした後、このボタンを約3秒長押しすると、LEDが 青色から赤色に切り替わり、ディスクコピー機能が使用可能に なります。
 →P.27【ディスクコピー機能】
 ※コピーモード時は本製品をPCに接続しても認識されません。

③コピースタートボタン:ディスクコピーモード時、コピーを開始する際に使用します。

④HDD/SSDアクセスLED:HDD/SSD認識時、青色に点灯します。
 HDD/SSDアクセス時、ピンク色に点滅します。

⑤コピー進行インジケーターLED:ディスクコピーモード時、25%単位でコピーの進行状況を示します。 また、PCモード時はディスクアクセス時、LEDが左右に動きます。

【対応HDD/SSD】

本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0または eSATA(3Gbps)のため、転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限速度となります。

<HDD>

■2.5インチまたは3.5インチのSATA HDD (SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps) ※本製品はSATA専用です。PATA (IDE) HDDは接続できません。 ※4TBまでのHDDで動作確認を行っております(2012年10月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

また、Windws XPはOSの制限により、2TB以上のHDDは使用できません。あらかじめご了承ください。 *SAS(Serial Atached SCS) HDDは使用できません。

※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

<SSD>

■MLCタイプの2.5インチSATA SSD (SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps)

※1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状(ASUS Eee PCの内蔵SSD等)のSSDは接続できません。 またSLCタイプのSSDにつきましては動作保証対象外とさせていただきます。 ※5V駆動のものに限ります。

【対応機種】

<USB接続>

Windows

- ・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB3.0モード動作時)
- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB2.0モード動作時)
- ・CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨 ※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に

動作しない可能性があります。

動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス				
センチュリー: CIF-USB3P2	バッファロー:IFC-PCIE2U3	ラトックシステム:REX-PEU3		
 ・ルネサスエレクトロニクス(NECエレクトロニクス)製USB3.0ホストコントローラー推奨 ※ USB3.0 で接続する場合は、USB3.0 ホストインターフェイスが必要になります。 従来の USB2.0 ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限は USB2.0 (480Mbps)になります。 ※ 各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。 				

Mac

・USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したMac

・USB2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※PowerPC搭載のMacは動作保証外になります。 ※USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。 ※USB2.0ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。

<eSATA接続>

■Windows:ポートマルチプライヤー対応のeSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機 ■Mac:ポートマルチプライヤー対応のeSATAインターフェイスを備えたMac

【対応OS】

Windows

Windows 8 (32bit/64bit) 、Windows 7 (32bit/64bit) 、
 Windows Vista (32bit/64bit) 、Windows XP (32bit SP3)

※Windows 95/Windows 98/Windows 98SE/Windows 3.x/Windows NT/Windows Me/ Windows 2000では動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

Mac

・Mac OS 10.8、10.7.4、10.6.8、10.5.8(2012年10月現在)

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して 本製品はeSATA接続に限りOS起動が可能です。起動方法等に関しては、eSATAホストカードの取扱説明書 をご確認ください。 USB接続でのOS起動には対応していません。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。 SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。 この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用 ください。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、むき 出し=裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。 しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密 機器です。

特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってから HDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等を ご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。



【HDD/SSDの取り付け方法】

■HDD/SSD接続の前に

・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。

・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
 人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
 作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

※注意

既にデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのパックアップ を必ず行ってください。

⚠警告

■接続および電源投入の順序にご注意ください!!

・本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。

- ・本製品のみの接続、または電源投入後の抜き差し(ホットスワップ)には対応しておりません。
- ※上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。



※本製品はシリアルATA (SATA) HDD/SSD専用です。パラレルATA (PATA) は接続できません。



■3.5" HDDの取り付け方法

HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2EU3CP」のHDD/SSD差し 込み口にゆっくり差し込みます。



〈完成図〉



■2.5" HDD/SSDの取り付け方法

HDD/SSDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROS2EU3CP」のHDD/SSD 差し込み口にゆっくり差し込みます。



〈完成図〉



■注意!

HDD/SSDを取り付ける際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。 手を添えずに取り付けを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。 ※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応しておりません。 HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

1. HDD(またはSSD)に手を添えながら、HDD/SSD取り出し補助ボタンをゆっくり押します。



 HDD/SSD取り出し補助ボタンを押すとHDD(またはSSD)がせり出してきますので、 ゆっくり垂直にHDDを取り外します。



■注意!

HDD/SSDを取り付ける際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。 手を添えずに取り付けを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

【PCとの接続方法】

本製品をコンセント電源とお使いのPCに接続すれば、使用の準備は完了です。



●eSATAポートマルチプライヤーとは

eSATAポートマルチプライヤーは、SATA規格のひとつです。 従来SATAはホストとデバイスを1対1でつなぐことしかできませんでしたが、ポートマルチ プライヤー機能を使用すると、1本のeSATAケーブルで最大5台までのeSATA機器を認識 させることができます。 また、ホスト側がポートマルチプライヤーに対応していない場合、デバイス側がポート マルチプライヤー対応で複数のHDDを搭載したとしてもHDDは1台しか認識されません。

【電源の投入方法】

電源スイッチはいちど押すと電源がONになり、電源ONの状態でもういちど押すと電源がOFFになります。



【領域の確保とフォーマット】

注意:この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明して います。 細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータ を消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理 は行わないようにしてください。

■Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合





Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」 を開きます。 その後は手順.3にお進みください。



Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→ 【表示方法:小さいアイコン*】→【管理 ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイ コン】または、【クラシック表示】にしない と管理ツールが表示されませんのでご注意 ください。

(a) ↓ □> ↓ □ → ↓ / (*)↓ ↓	• 49 検索の
ファイル(F) 楊集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)	
三 名前 カテゴリ	
GISCSI 4IST-9	壁 ネットワークと共有センター
 クラシック表示 アablet PC 設定 	盛ハードウェアの適加
S Windows Anytime Upgrade	③バックアップと復元センター
Windows CardSpace	■ パフォーマンスの情報とツール
IIII Windows Defender	デフォルダ オプション
Windows SideShow	Aフォント
🖾 Windows Update	はオリンタ
B) Windows サイドバーのプロパティ	「同 プログラムと模範
₩indows ファイアウォール	1 ペンと入力デバイス
①インターネット オプション	タマウス
品インデックスのオプション	風 ユーザー アカウント
目 ウエルカム センター	②音声合成
□ キーボード	4 音声認識オブション
アームコントローラ	②管理ジール
(ロコンピュータの根単級作センター	第1日かのフレクラム
4 9928	よ近くの人との接続
際システム	副個人設定
売 スキャナとカメラ	同日動西午
第1セキュリティ センター	日本の新聞

Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→ 【クラシック表示*】→【管理ツール】を 開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイ コン】または、【クラシック表示】にしない と管理ツールが表示されませんのでご注意 ください。

Colline Tyboall //	1. 、 柳葉パール	- 4. 199		
Generation with	o • mas //	- -y 0000		
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジ	/ール(T) ヘルプ(H)			
🐚 望旺 • 泪 表示 • 💷 間く	\$ \$\$70			
お客に入りリンク	64	更新日時	83	サイン
D. Pata José	(熱) ISCS1 イニシエータ	2006/11/02 21:54	ショートカット	
トキュメント	剣イベントビューア	2006/11/02 21:54	ショートカット	
E 2059	図書コンピュータの管理	2006/11/02 21:54	ショートカット	
詳細 >>	10. ワービス	2000/11/02 21:55	ショートカット	_
14 I M	回システム構成	2006/11/02 21:53	ショートカット	
1009 ·	●セキュリティが強化さ	2006/11/02 21:53	ショートカット	
■ 'JI//JA U/9"	🗑 タスク スケジューラ	2006/11/02 21:54	ショートカット	
シビュータの簡単量作セント	家 データ ソース (ODBC)	2006/11/02 21:53	ショートカット	
9 >ATA	■ メモリ診断ツール	2006/11/02 21:53	ショートカット	
壁 ネットワークと共有センター	の目前性とパフォーマン	2006/11/02 21:53	ショートカット	
30109797200te79-				
103-40A0AW20-1				
1 Jacob				
3 JUJ9				
B 709562000				
感 ユーサー アカウント				
① 台戸総算オノション				
(2) 智道ツール	· •	18		
新羅択		1.65 KB	コンピュータ	

レイアウト 種類 ファイルシステム 状態

(C) 149.05 GB NTFS 正常 (システム, ブート, ページ ファイル, アクティブ, クラッシ (2/1)

З.

古コンピュータの管理 ファイル(F) 盤冷(A) 表示(V) 中⇒ 二回 目前 2 話

= 71270

¹型 ティスク1 不明 4.65 GB 総制た2れていま 本部の当て 立 CD-ROH 0 DVD (0:) ■ 本部的名■ プライマリバーティンの

会 ディスクの指理

【管理ツール】の中の【コンピュータの 管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】 ウインドウが表示されます。【続行】 をクリックしてください。 続行できない場合は、ユーザーに管理者 としての権限がありません。 システムの管理者にご相談ください。

【コンピュータの管理】の【ディスクの 管理】を選択すると、接続したディスクが 【初期化されていません】と表示されて います。

そこを右クリックして表示されるポップ アップメニューから【ディスクの初期 化】を選択します。

<	ディスクの初期化(I)
	プロパティ(P)
	ヘルプ(H)



【ディスクの初期化】ウインドウが表示 されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを 確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて

2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティション サイズの上限が2TBとなってしまいます。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。 また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。 GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。 w

【領域の確保とフォーマット】



【ディスクの初期化】が完了するとディ スクの状態が【オンライン】に変わり ます。

この状態ではまだ使用できませんので、 ボリュームを作成してフォーマットする 必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、 ポップアップメニューが表示されますので 【新しいシンプルボリューム】を選択 します。



【新しいシンプルボリュームウィザード】 が表示されます。 設定する箇所はありませんので【次へ】 をクリックします。



【ボリュームサイズの指定】が表示され ます。

MB(メガバイト)単位でボリューム サイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティション サイズとなりますので、任意の数値を 指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定され ます。

設定したら【次へ】をクリックします。



【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウインドウが表示されます。 ドライブ文字は、マイコンピュータや エクスプローラで割り当てられるドライブ のアルファベットです。通常、Cが起動 ドライブで以降アルファベット順に割り 当てられます。特に指定がなければ空い ている割り当て番号のいちばん若いアル ファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り 当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【領域の確保とフォーマット】



【パーティションのフォーマット】 ウインドウが表示されます。

- ・ファイルシステム NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。
- ・アロケーションユニットサイズ パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケー ション等の指定がない限り、規定値を選択します。
- ・ボリュームラベル
 マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
- ・クイックフォーマットする
 このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットで
 フォーマットを行います。
 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
 お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
 このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
 通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

ー部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。



【新しいシンプルボリュームウィザード の完了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して 【完了】をクリックするとフォーマット が開始されます。





フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が 表示されますが故障ではありません。 フォーマット中は、PCや本製品の電源を切ったり、ケーブル を取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の 原因となります。

【領域の確保とフォーマット】

■Windows XPの場合

注意:フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってくだ さい。



スタートメニューのマイ コンピュータ を「右クリック」で開き「管理」を選択 します。

「コンピュータの管理」ウインドウが 開きます。





「コンピュータの管理」ウインドウの 「ツリー」の中から「ディスクの管理」 を選択すると、「ディスクのアップグレード と署名ウイザード」が表示されます。 「次へ」をクリックします。

w

i



「署名するディスクの選択」ウインドウ が表示されます。 署名するディスクにチェックを入れて 「次へ」をクリックします。

ディスクの初期化と支換ウィ	4-H	「ディス
	ディスクの初期化と実換ウィザードの完了	ザード5
	ディスクの初期化と変換ウィザードは正常に完了しました。	す。
	次の設定が選択されました。 注即例で、ディスク 2	「完了」
	変換 なし	閉じます
	ウィザードを閉じるには、「売了」をクリックしてください。	
	〈東る⑧ (第7) キャンセル	

「ディスクのアップグレードと署名ウイ ザード完了」 ウインドウが表示されま す。 「完了」をクリックしてウインドウを

5. 島 コンピュータの管理 ファイル(E) 操作(B) 表示(D) ウィンドウ(B) _ @ × ータの管理(ローカル) 利1-4 レイアウト 種類 ファイル システム 状態 パーティンパン パージッカ MTES 正常 (2.7-7-記憶地 のリムーバブル記憶域 ディスクデフラグッー ディスクの管理 サービスとアプリケーション ディスク 8 ベーシック 233.75 GB オンライン (C:) 223375 GB NTFS 正常 (システム) **同 ディスク2** ベーシック 189,92 GB オンライン 189,92 GB 未割り当て CD-ROM B メディアなし ■ 未寄り当て ■ ブライマリ パーティション

次にパーティションの作成を行います。 「未割り当て」と表示され、斜線になって いるディスクがフォーマットされて いないディスクですので、「未割り当て」 と表示されている部分を「左クリック」 で選択し、「右クリック」でメニューを 開き、「パーティションの作成(P)..」 を選択します。



「パーティション作成ウイザード」が 表示されます。 「次へ」をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】



「パーティションの種類を選択」ウイン ドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択 して「次へ」をクリックします。

※1つのディスクを5つ以上のパーティ ションに分割する場合は、拡張パー ティションを選択します。



「パーティションサイズの指定」ウイン ドウが表示されます。 「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量(1パーティション)ですが、複数のパーティションを作成するには、 容量を減らし、「パーティション作成ウイザード」をくり返して行うことで、複数のパー ティションを作成することができます。



【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウインドウが表示されます。 ドライブ文字は、マイコンピュータや

エクスプローラで割り当てられるドライブ のアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アルファ ベット順に割り当てられます。特に 指定がなければ空いている割り当て番号 のいちばん若いアルファベットが割り 当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り 当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。



「パーティションのフォーマット」ウイン ドウが表示されます。 このウインドウでフォーマット設定を することができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・使用するファイルシステム NTFSとFAT32が選択可能です。
- ・アロケーションユニットサイズ アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はあり ません。
- ・ボリュームラベル
 「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」
 というボリュームラベルが設定されます。

・クイックフォーマットする
 このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットで
 フォーマットを行います。
 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて
 選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする Windowsのファイル圧縮機能を使用します。 ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能 ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。 詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】



「パーティション作成ウイザードの完了」 ウインドウが表示されます。 「完了」をクリックして閉じます。



フォーマットが開始されます。 「ディスクの管理」で表示されるステー タスが「フォーマット中」になります。 進行状況が100%になり、ステータスが 「正常」になればフォーマット完了です。 使用可能になっていますので、マイコン ピュータからディスクアイコンを開いて コピーなどを行ってみてください。



フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が 表示されますが故障ではありません。 フォーマット中は、PCや本製品の電源を切ったり、ケーブル を取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の 原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中のハードウェアの取り外しが可能です。 ※eSATA接続の場合、WindowsをシャットダウンしてからeSATAケーブルを取り外してください。



- 1:本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。 取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下の ように表示されます。
 - Windows XP : 「USB大容量記憶装置デバイス」
 - ・Windows Vista :「USB大容量記憶装置」
 - Windows 8/7 : [USB to ATA/ATAPI Bridge]
- 2:取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。 電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、 参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。 「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損 したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行って ください。

【Macでの使用方法】

Mac OS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

※あらかじめMacフォーマットを行ったHDDはそのまま使用可能です。



リティスクとのボリュームが求於されました 情報 First Aid 別去 パーティション RAID

ディスクの説明: 全体のサイズ: 5.03 GB (5,403,525,120 パイト) 接続パス 接続 ID: 63110936877078376

「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの 中にあります。 左側に接続されているフォーマット可能ディスク の一覧が表示されます。 本製品は、 「xxGB(HDDの容量) xxxxxx(HDDの型番) media と表示されます。 これをクリックして選択します。

接続されているディスクの情報が表示され ます。



大和未設定

サイズ: 5.03

のアメスクは初期介できます。

Mac OS 9 ディスクドライバをインストール ポリュームの方式を選択し、ポリューム名とファイ んシステムのタイプを選択して、ポリュームのサイ ズを変更します。

CB 5.03 GB 日安更できないようにする

(元に戻す) (OK

上の「パーティション」タブをクリックします。 パーティション設定を変更できます。

・ボリュームの方式 作成するボリューム数を選択します。 8つまで分割して作成することが可能です。

・ボリューム メディアの分割状況が表示されます。

・ボリューム情報

ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。 「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を 変更することが可能です。

名前

2.

М

а

c での使用方法

▶ 28.63 G8 IBM ▶ 27.96 G8
 ▶ 5.03 G8 Century
 ▶ 217.93 M8

作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられ ます。

・フォーマット

作成するボリュームのフォーマットを選択します。「Mac OS標準」「Mac OS拡張」 「UNIXファイルシステム」「空き領域」が選択できます。通常は「Mac OS拡張」を 選択してください。

・サイズ

作成するボリュームのサイズを変更できます。

・オプション

「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作 するドライバをインストールします。

- ・分割
 選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- ・**削除** 選択されているボリュームを削除します。
- ・元に戻す

直前の変更を元に戻します。



すべて決定したら右下の「OK」をクリック します。 警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャン セルする場合は「キャンセル」をクリック します。

Mac での使用方法

5.



パーティションが作成され、デスクトップに マウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDock の中のごみ箱にドロップします。

※HDDを複数台使用している場合、HDDは個別に 取り外しを行うことはできません。 取り外しを行う際は、認識しているHDDをすべて ごみ箱にドロップしてください。

【ディスクコピー機能】

本製品はPCと接続せず、単体でディスクのコピーができる機能が搭載されています。セクタ単位のコピーなので、内容を問わずディスクを丸ごとバックアップすることが可能です。

また、ファイルシステムも含めてコピーされるので、コピー先のディスクをフォーマットする 必要もありません。

⚠注意

~ディスクコピーをご使用の前に~

ディスクコピーを行う際、ディスクの接続場所や操作を誤ると、大事なデータがすべて消失 してしまうおそれがありますので、必ず本取扱説明書の手順にしたがって、操作を行って ください。

また、このようなディスクはコピーの読み込み、書き込み双方に使用できません。

- ・不良ブロック/セクタのあるHDD/SSD
- ・認識しないHDD/SSD
- ・その他、動作の不安定なHDD/SSD

■ディスクコピーの手順

 本製品とACアダプター、ACケーブルを接続します。 USBケーブル、またはeSATAケーブルがPCと接続されている場合は取り外してください。



 電源がOFFになっていることを確認し、HDD2 (SOURCE DISK) スロットにコピー元の HDD/SSDを接続し、HDD1 (TARGET DISK) スロットにコピー先のHDD/SSDを接続 します。



〈コピー元からコピー先へのデータの流れ〉



⚠注意

HDD/SSDを接続するスロットにご注意ください。コピー元とコピー先を間違えてコピーを 開始すると、**コビー元のHDD/SSDの内容がすべて消失してしまいます**。 また、コピー先のHDD/SSDは必ずコピー元のHDD/SSDと同容量または大きい容量のもの を接続してください。コピー元より容量が小さい場合、コピーが開始されません。 コピー元と同容量であっても、メーカーが異なる場合、容量に誤差がありコピーができない 場合がありますので、同容量でコピーする場合は同メーカー・同型番のものをご使用ください。

【ディスクコピー機能】

3. 電源ボタンを押して電源をONにします(①)。 HDDの回転が安定してからPC/COPYボタンを約3秒長押しすると、LEDが青色から赤色に切り替わります(②)。これでコピーの準備は完了です。



4. STARTボタンを押すと、ディスクコピーが開始します。 HDD1/HDD2のアクセスLEDがピンク色に点灯し、コピー進行インジケーターLEDの左の LEDが青色に点滅します。 コピーが25%進行するとごとに左のLEDから点滅→点灯に変わります。 コピー進行インジケーターLEDがすべて点灯し、HDDアクセスLEDがピンク色から青色の

点灯に変わるとコピー完了です。

※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら、電源をOFFに してください。

●コピー開始時



①STARTボタンを押す
 ②HDD/SSDアクセスLEDがピンク色に点灯
 ③コピー進行インジケーターLEDが点滅
 <u>コピーの進行状況</u>
 <u>コピーの進行状況</u>
 <u>シピー中は点滅</u>
 <u>シピーキは点滅</u>
 <u>シピーキは点滅</u>
 <u>シピーキは点滅</u>

●コピー終了時



 ①コピー完了時、HDD/SSDアクセスLEDが ピンク色から青色点灯へ
 ②コピー進行インジケーターLEDが全点灯

0% 50% 100%

0% 50% 100%

※コピーが完了しても自動的に電源が切れないので、コピーが完了したことを確認したら 電源をOFFにしてください。

⚠注意

コピー中に電源をOFFにしないでください。HDD/SSDの内容が破損するおそれがあります。

◎コピーにかかる時間はHDD/SSDにより異なります。

~参考~

弊社テスト環境にて1TB HDDのコピーが約160分(平均転送速度:約104MB/sec)

【ディスクコピーモード時のトラブルシューティング】

コピーが開始されない、またはコピーが途中で止まってしまう場合は次のような原因が考えられ ます。

■コピーが開始されない

どちらかのディスクに異常がある、またはコピー先のディスク容量がコピー元のディスク容量 より少ない場合、コピーは開始されません。異常のあるディスクを交換するか、コピー先をディ スク容量の大きい物に交換してください。

~コピーが開始されない時の挙動~



■コピーが途中で止まる

コピー元かコピー先に不良セクタがあると、コピーが途中で止まります。この場合、本製品の 電源をOFFにして、ディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

※本製品のディスクコピー機能はディスク双方に不良セクタ、不良ブロックがある場合、コピーできません。 あらかじめご了承ください。

~コピーが途中で止まる時の挙動~
POWER ●COPY START ● HDD2 ● HD2 ●

■コピーを途中で中止するには?

コピーを途中で中止したい場合、STARTボタンを約5秒長押しすると、コピーが中止されます。 再度コピーを開始しても、中止した所から再開されず、先頭からのコピーになりますので、やむ を得ない事情がない限りコピーを中止しないでください。

~コピーを途中で中止するには~



【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。 「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- ・接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- ・電源ボタンのLED、HDD/SSDアクセスLEDが点灯しているか
- ・eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか
- ・eSATA I/Fの仕様はポートマルチプライヤーに対応しているか
- ·Windows XP に2TB超のHDDを接続した場合、OS側の仕様で認識されません。 2TBまでのHDDをご使用ください。

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうかが 異なります。詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。 また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってデータの破損等につながる場合が ありますので、弊社ではおすすめしておりません。

■スリープから復帰するとフリーズする(Windows/Mac)

→本製品はスリープに対応しておりません。スリープする前に取り外しを行ってからスリープを 行ってください。

■eSATA接続時のみ3TBのHDDが認識できない。または容量を誤認識してしまう

→ご使用のeSATAインターフェースが2TB超の容量に対応していない可能性がございます。 ご使用のeSATAインターフェースの仕様をご確認ください。

■eSATA接続時、片方のHDDしか認識できない

→ご使用のeSATAインターフェースがポートマルチプライヤーに対応していないと1台目の HDDのみが認識される状態になってしまいます。 ポートマルチプライヤー対応のeSATAインターフェースを別途ご用意して、接続を行ってくだ さい。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによって USB2.0機器として認識してしまう場合があります。 本製品の電源はOFFの状態で各ケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。 ■USB3.0接続時、認識が不安定になったりHDDが断続的に回転・停止をくり返す →USB3.0ホストコントローラのドライバが最新の物になっているかご確認ください。

■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

→eSATAのホストアダプターの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続 しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプターの仕様をご確認 ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードが IDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を 行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■2TB超のボリュームを作成したが、フォーマットしようとすると2TBで分割され てしまう(Windows 8/Windows 7/Windows Vista)

→2TBを超えるボリュームを使用する場合は、HDDの初期化形式をGPT形式にする必要があり ます。

MBR形式で初期化を行っていないか確認してください。

■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示 されない(Windows)

→ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。 USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

【トラブルシューティング】

■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

・1MB = 1,000,000 バイト

で計算した値で示しています。それに対し、一般的には、

・1KB = 1024 バイト

・1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト

・1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト

• 1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

• 2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約 1.8TB

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、 ご理解をお願いいたします。

[FAQ]

Q:使用できるHDDの最大容量は?

A: 4TB (テラバイト) までとなります。(2012年10月現在)

Q:カードリーダーのようにHDD/SSDを抜き差しして使うことは可能ですか?

A:残念ながらできません。本製品はあくまでドライブアダプターですので、電源を切った上で 抜き差しをする必要があります。

電源を入れた状態でHDD/SSDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDD/ SSDを故障させる可能性があります。

Q:着脱可能回数は何回ですか?

A:本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10000回となっております。 HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数 はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q:OSの起動は可能ですか?

A:eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。 ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。 ※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。ご了承ください。

Q:S.M.A.R.T情報が表示されない

A:SMARTを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものが あるようです。弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

【コピーモード時のFAQ】

Q:異なる容量のHDDでもコピー可能ですか?

A:可能です。異なる容量でコピーする場合、必ずコピー先HDDの容量がコピー元HDDの容量 よりも大きな物でなければなりません。

Q:異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか?

A:コピーモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。500GBHDDから 1TBHDDヘコピーした場合、500GBはそのままコピーが行われ、残り500GB分が空き 容量となります。

空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。

- Windows XP/Vista/7の場合 ディスクの管理で余った容量に対して追加でパーティションを作成、利用可能です。
 *Windows環境ではパーティションを編集するソフトウェアが販売されております。そういったソフト ウェアを利用することで、空き領域を利用することが可能な場合もございます。
- Macintoshの場合
 残念ながら利用する方法はございません。

Q:異なる回転数、モデルのHDDでもコピー可能ですか?

A:可能です。

- Q:Linux、HDDレコーダー、カーナビ等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー 可能ですか?
- A: コピーモードはセクタ単位のコピーを行うため、HDD内のファイルシステムやデータフォー マットを判別しておりません。そのため、コピーモードでHDDのクローンを作ることは可能 です。まったく同じ容量、メーカー、銘柄のHDDであればそのまま起動も可能ですが、容量 が異なるHDDにコピーした際のOSの扱いがどのようになるかは未検証ですので、お客様の 責任において行っていただきますようお願いします。 その他、コピー防止等の機能、プログラムの存在により動作しない場合もございます。

その他、コピー防止等の機能、ノロクラムの存在により動作しない場合もごさいます。 あらかじめご了承ください。

Q:不良セクタのあるHDDでもコピー可能ですか?

A:残念ながらコピーできません。読み込みないし書き込みエラーが発生した現在で、エラーと なってコピーが停止します。セクタスキップ等は行いません。

Q:メーカーAの40GBHDDからメーカーBの40GBHDDへコピーができないのですが?

A:同じ40GBHDDでもメーカによって細かい容量が異なります。コピーモードでは1バイトで もコピー元が大きな容量ですとコピーができません。また、同じ型番のHDDでもロット差に より細かい容量の差がある場合がありますのでご注意ください

Q:SCSIのHDDをコピー可能ですか?

A:対応しておりません。

Q:PC内蔵HDDをUSB接続状態でコピー可能ですか?

- A:PCに内蔵したままではコピーモードを使用することはできません。 コピーモードを使用する場合、必ずHDDをコンピュータから取り出して直接CROS2EU3CP に接続しなければなりません。
- Q:コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元よりも小さなHDDに コピーできますか?
- A:残念ながらできません。使用していない領域もコピーを行いますので、必ずコピー先HDDは コピー元HDDよりも大きな容量でなければなりません。

Q:コピーにかかる時間はどのくらいですか?

A:コピーを行うHDDによっても異なりますが、約2GB~3GB/分のコピーが可能です。

Q:コピーする前にコピー先HDDをフォーマットしておく必要はありますか?

A:必要ありません。コピー元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、 コピー先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

Q:インジケーターがコピー中を示していますが、コピーがいつまでたっても終わりません。

A:HDDにエラーがある場合、基本的にはインジケーターが全点灯し、エラー状態であることを 示しますが、HDDの故障状態によってはコピー中の表示のまま止まってしまう場合もあります。 HDDの容量とコピー時間の目安(P.30参照)から、異常に長い間コピーが終了しない 場合、コピーを中断してディスクチェックソフト等でディスクチェックを行ってください。

Q:差分バックアップは可能ですか?

A:対応しておりません。すべて先頭からの全領域コピーとなります。

Q:パソコンから抜き出したHDDをコピーして入れ替えたが起動しません。

A:パソコンによっては、保守用の特殊なパーティションがあり、HDDを変更したことにより 動作に支障が出る場合があります。 残念ながらこの場合は、コピーは行えても起動には使えない状態となってしまいます。 あらかじめご了承ください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】 株式会社 センチュリー	■サポートセンター 〒277-0872 千葉県柏市十余二翁原240-9 【TEL】04-7142-7533 (平日 午前10時~午後5時まで) [FAX] 04-7142-7285 [Web] http://www.century.co.jp [Mail] support@century.co.jp	
CENTURY	~ お願い~ 修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから 発送をお願いいたします。	

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。 今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を お願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

~弊社商品につきましてのアンケート~

[URL]http://www.century.co.jp/que.html



- 本書に関するご注意 --

- 1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、 お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセン チュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた 損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

*This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.